

戦争とは 平和とは ~身近な地域の歴史から 地域との交流を通して~

- ①73年前に起こった戦争について
- ②広島に「折り鶴」が集まる理由

- ③絵本の読み聞かせを通して、「折り鶴」の意味を知る。



- この話を伝えていく必要がある。
- 海外の人のほうが、この話を知っていることが悲しい。
- 日本で起こったことを、日本人が知っているべきだ。
- 戦争が残す傷跡の深さ、犠牲の大きさを知った。
- 戦争は無意味なものだ。
- この話を伝えていける時が平和で、その時に平和がつくれる。

- あまりにも戦争のことを知らなかった。
- 戦争のことを伝えてくれる人も少なくなっている。
- 広島に集まる「折り鶴」が意味することを知らないまま、鶴を折るところだった。

- 広島だけでなく、様々な地域で戦争に関する言葉が見つかった。
- よくわからないものもある。
- 長野県や塩尻でも、戦争に関わる言葉が見つかった。

- ④73年前の戦争について知ることから始める。
(73年前の戦争に関する言葉を資料や本から探してみる。)

生まれ育った長野県の73年前の戦争に関わることを調べることから、戦争や平和について考え、次の世代に伝えていこう。

⑤長野県の73年前を調べる

- 1 市立図書館の方に調べ方や資料の探し方の基本を教えてください（市立図書館による出前授業）
- 2 地域の方の戦争体験（それぞれの世代の目線から感じた戦争）のお話を聴く。
- 3 丘中学区にある戦争にある遺跡（桔梗ヶ原女子拓務訓練所）について学ぶ。（ボランティアの方による出前授業）

⑥自分が感じていること、調べて分かった事実をまとめる。

- ⑦73年前のことを知らなかった自分から、少しでも知っていることが多くなった自分が、「戦争や平和」についての自分の考えや次世代にどのようなことを伝えていきたいか明確にする。

⑧次世代へ伝えたいこと・伝え方を考える

読み聞かせのやり方を教えてください。（市立図書館による出前授業）

- ⑨読み聞かせ班・資料班・語り部班に分かれて、それぞれの伝え方をしていく。

調べる(知る)・考える

伝える

長野県の73年前の戦争について知ったことから、戦争や平和についての考えを持ち、次世代に伝えることができる自分

